JFF NEWS

No4 2016冬号　2016年 12月23日
発行：日本フロアボール連盟

P1 ・2016年度第2回社員総会
・2017U19男子世界選手権大会
アジアオセアニア予選会
P2 ・2016サマースクール
P3 ・ネオホッケー各大会結果
P4 ・フロアボール各大会結果
P5 ・クラブ紹介（埼玉県）
駿河台大学・錦倶楽部

2016年度第2回社員総会開催

日程：2016年10月8日（土）
会場：まなび創造館

一般社団法人に移行し、第2回の社員総会が愛知県小牧市「まなび創造館」で開催されました。
総会の冒頭、渡邉会長より先日、行われたU19男子世界選手権大会アジア太平洋予選会に関し、会員の皆様の御協力により無事に開催を終えたことの感謝するとともに、今後、フロアボールの競技人口を増やし、レベルアップの必要があると話しがありました。
総会は、各部門の中間報告、また、次年度の第1回社員総会までの事業、予算等について承認をいただきました。

総会終了後、小牧コミュニティーホールに会場を移動し、翌日に開催される「第5回全国シニア＆混成ネオホッケー大会」の前夜祭、ならびに懇親会が行われてました。会場では地元有志による和太鼓が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

U19男子世界選手権大会出場決定！！

日本連盟となり初の国際大会「2017U19男子世界選手権大会アジアオセアニア予選会」が2016年9月17日～20日に山梨県富士吉田市で開催されました。

試合の模様や写真は、IFF公式動画配信サイト等で閲覧可能です
各サイトの情報
大会用ホームページ　http://www.floorball-wfc2017aoq.com/
動画配信　www.youtube.com/iffchannel
SNS配信　https://www.facebook.com/wfc2017aoq/
写真提供　http://www.flickr.com/photos/IFF_Floorball

来年5月に開催されるスウェーデン・ベクショーで開催される世界選手権のアジアオセアニア出場枠の2枠をかけて、日本・オーストラリア・ニュージーランド・イランの4か国で総当たりのリーグ戦方式で行いました。
日本は最終戦でオーストラリアに敗戦しましたが、2勝1敗で世界選手権への出場の切符を手に入れることができました。
会員の皆様には多くの声援ありがとうございました。あわせて、来年5月の世界大会の応援もよろしくお願いします。

2017女子世界選手権大会アジアオセアニア予選会

2017年12月スロバキアで開催される、2017女子世界選手権大会のアジアオセアニア予選会が、2017年1月31日～2月5日　ニュージーランド・ウェリトンで開催されます。初出場の3か国を含めた、9か国で出場権4枠を争います。
IFF　HP　：　http://www.floorball.org/pages/EN/Womens-WFC-2017

アジアオセアニア予選会　出場国

日本	韓国
オーストラリア	タイ（初出場）
シンガポール	中国（初出場）
ニュージーランド	イラン（初出場）
マレーシア	

2016青少年サマースクールin静岡　レポート

7月28日（木）～31日（日）に静岡県掛川で開催された2016青少年サマースクールの現地の様子を取材してきました。

今年のサマースクールは、120名の参加、取材したのは30日（土）のネオホッケー大会・交流会。会場となった体育館は掛川市営の「し～すぽ」。2014年に開館し、床がラバーでできているのが特徴です。

今回、取材をしながら参加者のプレーを見ましたが、個人技、チームプレーのレベルがとても上がっていて、スタッフの細かい指示にも、ちゃんと対応しているのが印象的でした。
サマースクールの報告は、日本連盟ホームページに掲載していますので、是非、ご覧になってください。

JFF NEWSでは、参加した選手・スタッフをピックアップし取材をさせていただきました。

報告書：トップページ>ネオホッケー>ネオホッケーからのお知らせ>2016青少年サマースクールin静岡
URL：http://www.floorball.jp/neo_tournament/detail.html?id=90

塚本愛（中2）
所属：埼玉県
参加回数：5回目

Q1：参加したきっかけは？
A1：毎年、参加していて、その都度上達しているので、今年も参加しさらに上達しようと思ったから。
Q2：参加してみてどうですか？
A2：今年は、部屋のリーダーを任されて、責任感を感じながら参加しています。
Q3：今回の合宿の目標は？
A3:苦手だったフライボールを克服できたので、それを試合などで出来るようにしていきたい。
Q4：どのような選手になりたいですか？
A4：得点を多く決められる選手になりたい。

松田　翼（小6）
所属：愛知県
参加回数：２回目

Q1：参加したきっかけは？
A1：上手くなりたいから。
Q2：参加してみてどうですか？
A2：今年は、部屋のサブリーダーになり責任感が増えた。
Q3：今回の合宿の目標は？
A3:地元のライバルチームに勝てるように上手くなって帰りたい。
Q4：どのような選手になりたいですか？
A4：大会でパスやシュートをしっかり決めてれ活躍できる選手になりたい。

2017青少年サマースクールin 福島

来年のサマースクールは福島県で開催されます。

2017年7月28日～31日

詳細につきましては、後日、事務局より送られる案内で確認をしてください。

松浦卓弥（26歳）
所属：愛知県
参加回数：1回目

Q1：参加したきっかけは？
A1：昨年までのサマースクールの報告を見て興味を持っていたこともあり、連盟の役員の方に興味があることを話したことがきっかけす。
Q2：参加してみてどうですか？
A2：担当が散歩、ラジオ体操、食事です。食事に関しては配膳から片付けまでを指導していますが、選手が日を重ねるごとに指導の回数が減っている。散歩やラジオ体操も集団行動がしっかりしているのが目に見えて選手の成長を感じられ参加した甲斐があります。
Q3：子供たちへのメッセージをお願いします。
A4（参加している選手だけでなく）小学生から中学生になると勉強や部活が忙しくなって、ネオホッケーを辞めてしまう子が多い。中学生、高校生になっても、1週間に1回でも、1ヶ月に1回をプレーして、長くこの競技をやっていってください。

長澤陽瑠（中1）
所属：愛知県
参加回数：2回目

Q1：参加したきっかけは？
A1：普段の練習がなかなかできなこともあって、夏休みを利用し合宿に参加して、もっと上手くなろうとおもったから。
Q2：参加してみてどうですか？
A2：中学生になったので部屋のリーダーを任され、下級生の世話をするようなりました。
Q3：今回の合宿の目標は？
A3:同じチームに上手い選手がいるので、その人より上手くなりたい。
Q4：どのような選手になりたいですか？
A4：パスやシュートをもっと上手くなって、自分より年上の選手に負けない選手になりたいです。

松田楓華（小6）
所属：愛知県
参加回数：1回目

Q1：参加したきっかけは？
A1：昨年、参加できなくて、今年こそは絶対参加しようと思っていから。
Q2：参加してみてどうですか？
A2：初参加でしたが、上級生の人たちが優しくしてくれて心強よい。
Q3：今回の合宿の目標は？
A3:この合宿で上手くなり、お父さんに上手くなった姿をみせたい。
Q4：どのような選手になりたいですか？
A4：日本代表選手を目指していきたい。

ネオホッケー部門　大会結果

第5回全国男女ネオホッケー大会
2016年6月12日　稲城市総合体育館（東京都稲城市）

男子の部		女子の部	
優　勝	高島平モンスター （東京都　板橋区）	優　勝	LYCKA （東京都　江戸川区）
準優勝	B　HIRAO （東京都　稲城市）	準優勝	高島平コバンシスター （東京都　板橋区）
第3位	富士見BGA　ホークス （栃木県　宇都宮市）	第3位	AKO郡山 （福島県　郡山市）
	ペングウィーゴ （静岡県　静岡市）		ぷりけっつ （静岡県　静岡市）

男子33チーム、女子20チームが参加した全国男女ネオホッケー大会。男子では、予選グループ1位突破した高島平モンスターが、決勝トーナメントでは、僅差ながら勝ち進み見事に初優勝を果たしました。女子では、LYCKAが予選リーグから決勝トーナメントまで負けなしで初優勝をしました。

第5回全国小学生＆中高生ネオホッケー大会
2016年9月11日　神奈川県立体育センター（神奈川県藤沢市）

小学生低学年混成の部		小学生高学年混成の部		中高生混成の部	
優　勝	第一小フェニックス (東京都調布市)	優　勝	坂崎ストロング (愛知県幸田町)	優　勝	フリーウィングU19 (神奈川県川崎市)
準優勝	平尾jrA (東京都稲城市)	準優勝	稲妻ファイヤー (栃木県宇都宮市)	準優勝	すみよし (神奈川県川崎市)
第3位	ZEROjr (石川県志賀町)	第3位	こべントス (神奈川県川崎市)	第3位	アグレッシブ (愛知県豊橋市)
	ネオフェストエース (静岡県静岡市)		錦ブルードラゴンズ (埼玉県蕨市)		ユベントスJr (神奈川県川崎市)

全部門を併せると66チームが参加するこの大会は、連盟の大会の中で一番参加チームが多い大会。年々、レベルも上がってきており予選突破も難しい大会になっています。

この激戦を制したのは、小学生低学年混成の部では「第一小フェニックス」、小学生高学年混成の部では「坂崎ストロング」、中高生混成の部では「フリーウィングU19」の3チームでした。

第5回全国シニア＆混成ネオホッケー大会
2016年10月9日　パークアリーナ小牧（愛知県小牧市）

グランドシニア混成の部		シニア混成の部		一般混成の部	
優　勝	わんぱくエース(栃木)	優　勝	蕨グラスホッパーズ(埼玉)	優　勝	AYIRAK X(愛知)
準優勝	静岡カムバック(静岡)	準優勝	ワラビーズ(埼玉)	準優勝	トヨサカUHC(愛知)
第3位	ABSS（愛知）	第3位	ゾエ (静岡)	第3位	錦ブルーMIX(埼玉)
	ドラあんどトヨッキー(愛知)		豊橋フェニックス(愛知)		DandA(愛知)

今年度よりシニア部門と一般部門を同日に行うことになりました。グランドシニア混成の部では、「わんぱくエース」が3連覇、シニアの部でも「蕨グラスホッパー」が3連覇を成し遂げました。注目の一般混成の部では、準決勝で6回の延長戦を制した「AYIRAKX」が準決勝の疲れを感じさせない戦いで見事に優勝をしました。

フロアボール部門　大会結果

2016年度国内リーグの日程が全て終了しました。日本リーグでは、女子の部で国士舘大学が連覇、LIMITEDが王者奪還をしました。関東リーグでは東京サンダーボルツが優勝、優勝した勢いをそのままに、日本リーグの入替戦（vs　BlueFulfill）にも勝利をし、来年度の日本リーグへの昇格を果たしました。
東北リーグでは、男子の部で八戸F.B.Cが 昨年の雪辱を晴らし優勝、女子の部では台福小町が初優勝をしました。

2016日本リーグ（男子の部）	
優勝	LIMITED　（神奈川フロアボールクラブ）
準優勝	国士舘大学　（国士舘大学）
第3位	FC道場　（石川道場）

2016日本リーグ（女子の部）	
優勝	国士舘大学　（国士舘大学）
準優勝	調布ダックス　（調布フロアボールクラブ）
第3位	CST-UNITED　（千葉フロアボールクラブ）

2016関東リーグ（男子の部）	
優勝	東京サンダーボルツ （東京サンダーボルツ）
準優勝	CHIBA-UNITED （千葉フロアボールクラブ）
第3位	調布ペンギンズ （調布フロアボールクラブ）

東北リーグ（男子の部）	
優勝	八戸F.B.C（東北FC）
準優勝	山形大学Salibandy-B （山形フロアボールクラブ）
第3位	仙台MAX （仙台フロアボールクラブ）

東北リーグ（女子の部）	
優勝	台福小町 （SENDAI INNEBANDY CLUB）
準優勝	仙台大学FB部 （SENDAI INNEBANDY CLUB）
第3位	山形Salibandy （山形フロアボールクラブ）

2016日本U13フロアボール選手権大会	
10月23日　会場：神奈川県立体育センター	
優勝	宇都宮フロアボールクラブ
準優勝	すみよしエンジェルズ
第3位	こべ岡上

2016日本U16フロアボールオープン大会	
10月23日　会場：神奈川県立体育センター	
優勝	Bチーム（個人参加チーム）
準優勝	Aチーム（個人参加チーム）

U13日本フロアボール選手権大会が神奈川県立体育センターで初めて開催されました。コートは小さめにし、フィールド4人GK1人のチームで試合を行いました。この大会では危険防止のため、アイガードの着用を義務付け、選手自身にも危険防止の大事さを知ってもらいました。
同時に行われたU16日本オープン大会では、当日、集まった選手がチームを作り対戦しましたが、サマースクール、夢PJで一緒にプレーしている選手が多く、和気あいあいとプレーをしていました。
なお、U13日本フロアボール選手権では、宇都宮フロアボールクラブ（栃木県）が優勝となり、初代王者となりました。

2016シニアオープン大会	
10月16日　駿河台大学	
優勝	CHIBA-FC
準優勝	八王子MAX
第3位	調布フロアボールクラブ

2016シニアオープン大会が10月16日駿河台大学で行われました。大会では若い世代には負けてられない！と多くにシニア世代のプレーヤーが奮闘。ミニコートですが15分×2ピリ総当り戦で3試合を行いました。
大会では、勝っても負けても終始、笑顔でプレーをしている姿が多くみられました。

【フロアボールクラブ紹介】 駿河台大学 （埼玉県）

我々、駿河台大学ユニバーサルホッケー部は今年で創部30年になる歴史と伝統あるクラブです。

このフロアボールというスポーツを日本に持ってきた吉野貴順監督の指導の下、30年間で男女合わせて約200人の卒業生を送り出し、全国各地で微力ながらもフロアボールの普及に尽力しています。

また部の活動としては、日本リーグ、日本学生選手権大会、日本選手権大会に向け、週3回から4回の練習を行っています。毎年数多くの日本代表選手を輩出し、世界の舞台でも活躍できるよう技術とともに人間力を養っています。

近年は良い結果を残せていませんが、部の目標である「常勝する」を目指し、学生を主体としたチームにOBOGを含め、切磋琢磨し日々練習に励んでいます。

今後も継続することに加え、それを成長・進化させ、各大会において結果を出すこととともに微力ながらもフロアボールの普及・発展に努めていきたいと思っています。

【ネオホッケークラブ紹介】 錦倶楽部 （埼玉県）

埼玉県蕨市で活動しています錦倶楽部です。

私どものチームを御存じという方はかなりのベテランと御察しします（笑）

我が錦倶楽部は創立約30年と割と息の長いチームであります。メンバーは約40人、下は幼児から上は6●歳と幅広く、賑やかに活動しています。

20年ほど前は全国大会の上位に名を連ねる常連チームでしたが、近年はなかなか思う様な成績を残すことが出来ていません。

10年位前から小学生の育成に力を入れ、チームの若返り（？）を図り活性化に取りくんでいます。また、市内のお祭りにチームで出店するなどホッケー以外の交流も行いながらチームの結束を高めています。

創立当初から我がチームは青を基調としたユニホームを着用しています。古くから知る人は青のイメージが定着している様で、錦は青以外のユニホームは着ないで欲しいと言われたことがありました・・・。伝統の「青」は守って行きたいと思っています！！

大会に参加する際、カテゴリーごとに思い入れのあるチーム名を付けて参加していますのでチーム名を紹介させてもらいます。

一般男子『錦バーニングハンマー』一般女子『錦ブルーsky』
小学生高学年『錦ブルードラゴンズ』小学生低学年『錦リトルドラゴンズ』
一般混成『錦ブルーMIX』・『錦どらちゃんず』シニア『錦ウルトラマリン』
以上のチーム名で元気に参加しています。

大会等でお会いすることがあれば、是非お声掛け下さい。

＜練習場所＞ 埼玉県蕨市立西小学校体育館
＜ 練 習 日 ＞木曜日　19：00～21：00（19：00～20：00は小学生練習）
土曜日　15：00～21：00　（15：00～18：00は小学生練習）
＜連絡先＞　nishikiclub16@yahoo.co.jp　担当：木谷（きたに）

連盟ホームページ
http://www.floorball.jp/
連盟公式　Facebook
https://www.facebook.com/japanfloorballfederation/

【お問い合わせ等は連盟HPからお願いします。】

フロアボール連盟では、各部門とも1～3月に日本No1を決める大きな大会が開催されます。各予選、リーグで勝ち上がったクラブ、チームが揃い対戦する試合はどの試合も熱戦が予想されます。広報委員会も会員の皆さんにお伝えできるに頑張ります。

編集担当　広報委員会